

会 議 録

会議の名称	白岡市介護保険等運営協議会第6回会議
開催日	令和5年7月25日（火）
開催時間	午後1時30分 から 午後2時40分
開催場所	生涯学習センター〔こもればの森〕1階 音楽・軽スポーツ室
会長の氏名	増田 政史
出席者（出席委員） の氏名・出席者数	北村 秀和 本木 桃子 伊藤 昌美 中村 由美子 小森谷 清 井上 みゆき 吉田 英雄 稲垣 操 寺井 堅一 増田 政史 小野 克己 齋藤 恵生 浅野 悦子 13人
欠席者（欠席委員） の氏名・欠席者数	
説明員の職・氏名	高齢介護課主幹介護保険管理担当 関根 啓之
事務局職員 の職・指名	健康福祉部長 中山 玲子 高齢介護課長 小島 浩 高齢介護課長補佐 金子 八絵 高齢介護課主幹介護保険管理担当 関根 啓之 高齢介護課主査地域支援担当 西山 訓弘 高齢介護課主査介護認定給付担当 鬼久保 智子 高齢介護課主事介護保険管理担当 鈴木 陽香
その他 会議出席者 の職・指名	
会議次第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 題 (1) 白岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の諮問について (2) 介護保険の運営状況について (3) 地域包括支援センターの運営状況について (4) 地域密着型サービスの指定について (5) 地域包括支援センターの運営体制強化について（案） (6) その他 4 閉 会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白岡市介護保険等運営協議会第6回会議次第 ・ 資料番号1 介護保険の運営状況について ・ 資料番号2 地域包括支援センターの運営状況について ・ 資料番号3 地域密着型サービス事業所の指定について ・ 資料番号3の2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の概要 ・ 資料番号4 地域包括支援センターの運営体制強化について（案）

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
課長	会議出席者に対し謝意を述べ、開会を宣す。 続いて会長より挨拶を願う。
会長	会議出席者に対し謝意を述べ、挨拶を行う。
課長	続いて、委員の出席状況について、出席委員は13名で、白岡市介護保険条例第20条第2項の規定による委員の過半数に達しており、本日の会議成立を報告する。 続いて、資料の確認を行う。 議事進行について、介護保険条例第20条第1項規定により、会長に議長の職を行うよう願う。
議長	議事を進行する旨宣する。
議長	(1) 白岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の諮問について 本日の議題「(1) 白岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の諮問について」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。
事務局	ここで、市より白岡市介護保険等運営協議会へ、白岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画について諮問を行う旨を宣する。
市長	協議会に対し、白岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画について諮問を行う。
議長	今後、計画について検討を進めていく旨を述べる。
課長	市長の退席を告げる。
議長	(2) 介護保険の運営状況について 次に、「(2) 介護保険の運営状況について」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。
事務局	資料番号1に基づき説明をする。
議長	質疑がないか、委員に諮る。 (質疑なし)
議長	(3) 地域包括支援センターの運営状況について 次に、「(3) 地域包括支援センターの運営状況について」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。
事務局	資料番号2に基づき説明をする。

議長	<p>質疑がないか、委員に諮る。</p> <p>（質疑なし）</p>
議長	<p>(4) 地域密着型サービス事業所の指定について</p> <p>次に、「(4) 地域密着型サービス事業所の指定について」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>資料番号3に基づき説明をする。</p> <p>質疑がないか、委員に諮る。</p> <p>（質疑なし）</p>
議長	<p>(5) 地域包括支援センターの運営体制強化について（案）</p> <p>次に、「(5) 地域包括支援センターの運営体制強化について（案）」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>資料番号4に基づき説明をする。</p>
議長	<p>質疑がないか、委員に諮る。</p>
A委員	<p>日勝圏域と篠津・大山圏域で各1名の増員とのことだが、被保険者数に約1,500人の差がある。また、ぽっかぽか、ウエルシアハウスの両包括支援センターの運営状況や決算報告を見ても、介護予防支援業務における委託件数や人件費、収入に差があるが、同じ1名増で整合性、公平性が確保できるのか。</p>
事務局	<p>条例で2,000人に一人と定めており、これに準じて増員するものである。</p> <p>両圏域で被保険者数は差があるが、要介護認定者数はほぼ同じ数となっており、実際の業務量はほとんど変わらないことから、常勤職員を増やすことにより、今まで以上にきめ細かく対応できる体制を整えたいと考えている。</p>
B委員	<p>介護予防のケアプランについては可能なら委託が良いが、単価が安く、居宅支援事業所が引き受けてくれないという事情があり、ぽっかぽかでは委託件数が少なくなっているのが実情である。</p>
C委員	<p>地域包括支援センター運営委託料の予算は現在4,800万円だが、どのくらい増えると見込んでいるのか。現在の2つの圏域についても、3つに増やすなどの検討はしないのか。また、住む場所によっては他の圏域の包括支援センターの方が近いといった状況もあると思われる。そうした際に柔軟な対応はできているのか。</p>
事務局	<p>1名増員につき600万円の増を見込んでいる。また、人員増に付随して備品購入費等も増を見込んでいる。</p>

	<p>これはあくまで現時点での目安であり、今後、適正に見積りを行っていく。 圏域数については現在の2圏域が定着しており、これを変更することは混乱を招くと考えている。 圏域をまたいでの対応は現に行っており、柔軟な対応を心掛けている。</p>
C委員	<p>了解した。もう一つ、会議資料についての要望だが、ページ番号を入れて欲しい。</p>
事務局	<p>今回の資料についてはページ番号が振られていないが、次回以降、見やすくなるようページ番号を入れる等配慮する。</p>
議長	<p>(6) その他 次に、「(3) その他」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>次回の運営協議会の予定及び会議の報酬支払いについて説明をする。</p>
議長	<p>質疑がないか、委員に諮る。</p>
A委員	<p>市のホームページを見て、情報が薄いと感じる。 様々な支援等のメニューの質や量は近隣市町と比べても劣っているとは思わないが、もっとアピールが必要ではないか。 昨年度実施した高齢者実態調査において、75%が認知症の相談窓口について知らないという結果もあり、あらためて感じた。</p>
事務局	<p>市としてもアピールが足りていないことは認識している。 今後、改善していきたい。</p>
B委員	<p>市はアピールが上手くないと私も感じている。 認知症サポーター養成講座等、私が関わっている事業についてもあまり知られていないと感じる。他市町より優れた取り組みも行っていると思うのもっとアピールすべきである。</p>
議長	<p>議事全体終了の旨を述べ、委員の協力に対し謝し、議長を降りる。</p>
課長	<p>円滑な議事進行に謝し、閉会を宣した。</p>